

# イスラエル国家の諸問題

池田明史編

# イスラエル国家の諸問題

池田明史編

アジア経済研究所

# イスラエル国家の諸問題

- いけだ あきふみ  
池田明史 (アジア経済研究所総合研究部中東総合研究プロジェクト・チーム)
- たてやまり ようじ  
立山良司 (中東経済研究所研究主幹)
- もり まり こ  
森まり子 (東京大学大学院修士課程)
- なかじま いさむ  
中島 勇 (中東調査会研究コーディネーター)
- いちかわ ひろし  
市川 裕 (東京大学助教授)
- こだま のぼる  
児玉 昇 (龍谷大学教授)
- こうさか まこと  
高坂 誠 (神戸商科大学助教授)

—執筆順—

イスラエル国家の諸問題

研究双書441

1994年3月7日発行©

定価3502円 (本体3400円)

編者 池田明史

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231(代)

発売所 アジア経済出版会

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)1640

FAX 東京(3357)0435

振替 東京5-143692

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-04441-5



定価3502円(税別)

ISBN4-258-0444

研究双書No441

池田明史編『イスラエル国家の諸問題』

**Isuraeru Kokka no Shomondai**

(Problems of the State of Israel: Peace, Nation, and Democracy)

*Edited by*

Akifumi IKEDA

*Contents*

- Chapter 1 Peace Process and Its Implication on "State and Nation"  
in Contemporary Israel  
(Akifumi IKEDA)
- Chapter 2 The Question of Jerusalem and the Middle East Peace Process  
(Ryōji TATEYAMA)
- Chapter 3 Concepts of Nation and State in Zionist Revisionism:  
From Jabotinsky to Menahem Begin  
(Mariko MORI)
- Chapter 4 Intifada and Its Implication to the Middle East Peace Process  
(Isamu NAKAJIMA)
- Chapter 5 Problems of Personal Status of the Immigrants in the Religions Law of  
Israel: A Brief Study of the Case of the Ethiopian Jews  
(Hiroshi ICHIKAWA)
- Chapter 6 Oriental Jews in Israeli Society  
(Noboru KODAMA)
- Chapter 7 The U.S. Human Rights Policy and the Soviet Jewish Emmigration  
(Makoto KŌSAKA)

(Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 441)

Published by the Institute of Developing Economies, 1994

42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan

# 目 次

まえがき

## 第1章 現代イスラエル国家の位相

——総論にかえて——	池田 明史	3
第1節 1993年9月合意の政治的文脈とその意義		3
第2節 中東紛争の構造的変容		7
第3節 「マドリード体制」の成立とその課題		11
第4節 「国家の主権」と「自治」をめぐる問題		14
第5節 「国家における主権」と「移民」をめぐる問題		19
おわりに		27

## 第2章 エルサレム問題と中東和平

はじめに	立山 良司	39
第1節 問題の所在		40
第2節 イスラエルの主張する法的根拠		48
第3節 国際化案の系譜		52
第4節 エルサレム問題解決案の展開		55
おわりに		62

## 第3章 修正主義運動における民族観・国家観

——ジャボティンスキーからメナヘム・ベギンへ——		
	森 まり子	69
はじめに		69

第1節	修正主義運動の展開	70
第2節	ジャボティンスキーの民族観・国家観	73
第3節	「後継者」ベギンの民族観・国家観	102
第4節	ジャボティンスキーからメナヘム・ベギンへ ——連続と断絶——	115
第4章	インティファダと今後の中東和平 ——占領地住民の反イスラエル闘争の組織化の経過とその政治的限界—— ……………中島 勇	123
	はじめに	123
第1節	インティファダの発生と組織化	126
第2節	インティファダの限界	142
	おわりに	152
第5章	移民の私的身分とイスラエルの宗教法体系 ——エチオピア・ユダヤ人の事例を通して—— ……市川 裕	159
	はじめに 問題の所在——国民国家の理念と歴史的遺産——	159
第1節	エチオピア・ユダヤ人とイスラエルへの移民	161
第2節	エチオピア・ユダヤ人の「ユダヤ性」をめぐる問題	165
第3節	近代国民国家とイスラエル宗教法	175
	おわりに	185
第6章	イスラエル社会におけるオリент系ユダヤ人 ……児玉 昇	189
第1節	オリент系ユダヤ人の「帰還」	189
第2節	欧米系との差異と確執	192
第3節	社会経済的位置と経済開発	195
第4節	オリент系社会の変容	207
第5節	オリент系と政治社会の変動	216



第7章 アメリカ人権外交と旧ソ連系ユダヤ市民受入れ政策	
……………高坂 誠……………	227
はじめに 問題のグローバルな位置と諸相 ……………	227
第1節 冷戦とアメリカの難民受入れ政策 ……………	229
第2節 新しい難民受入れ体制の確立 ……………	232
第3節 旧ソ連系ユダヤ市民とアメリカ・ユダヤ人社会 ……………	237
第4節 ‘Drop-Out’現象と2つのユダヤ人社会 ……………	245
おわりに ……………	248